

「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」

第11回 埼玉労働局長（安藤よし子）の企業トップ訪問

平成25年6月18日、AGS（株）の小川社長をお訪ねしました



<訪問企業プロフィール>

AGS 株式会社（代表取締役社長 小川 修一）

さいたま市浦和区針ヶ谷4丁目3番地25

情報処理サービス等

労働者数980名（うち女性218名）

多様な働き方実践企業（ゴールド認定）

「カエル！ジャパン」キャンペーン参画

<訪問のあらまし>

平成25年6月18日、与野駅西口からほど近くにあるAGS（株）本社に、代表取締役社長小川修一氏をお訪ねしました。取締役常務執行役員・企画管理本部長石井進氏、人事部部長野澤幸治氏にもご同席いただきました。

同社は、金融・公共・一般法人の各分野で、顧客のニーズに応えるシステムコンサルティングからアウトソーシングまで、広範囲にわたる情報システムサービスを提供する企業です。

女性の管理職への登用について、小川社長は、「女性リーダーを積極的に登用していきたい。いずれは役員に女性を登用している「ヒューレットパカード（メグ・ホイットマン CEO）」のような姿も一般的なものになっていくでしょう。」とのお考えを示されました。一方で、女性のステップアップには、まだ課題もあるとのことでした。

「課長相当職や係長相当職の人はおりますので、これから幹部職員への登用もしていきたいと考えていますが、まだまだ女性の母数が少ないのが現状です。この業界では、女性に本格的に活躍してもらおうようになってからまだあまり時間が経っていません。そこで、海外でのリーダー研修に参加してもらって刺激を受けてもらうなどの取組を進めています。」とのことでした。



また、「人によっては責任のある立場に就くことを敬遠するものもおりますが、職員の年代によっても違いがあるようです。比較的若い40代くらいの層では、上昇志向の強い人も現れてきています。女性リーダーが増加してくるのはこれからと感じています。」と小川社長。

安藤局長が「幹部社員への登用につながるグレードに昇進するにあたって、何か女性にとってネックとなる要因はあるのでしょうか。」とお尋ねすると、

「ネックがあるとすると、出産・子育てによる休暇でしょうか。短時間勤務をされていても、やはり子育ては大変です。時間が使えない、足りない、となってしまう。」と小川社長。一度休暇を取得したり、短時間勤務となったりした働き盛りの人を、どのように復帰させていくかが今後の課題となっている旨ご説明いただきました。

その一方で、出産・子育てにより離職する女性は少ないため、「いずれそういう人々がステップアップして、管理職にまで昇進してくれるようになってくれば、と思っています。」と小川社長。

安藤局長も、一度出産・子育てでスローダウンした人を、いかに第一線に復帰させるかが重要であるかについて言及しました。また「一度お休みされた後、再び幹部への道を歩むというロールモデルが誕生すると、後の人も続いて行きやすくなります。突破口となる最初の一人が生まれれば、一気に状況が好転す

る可能性もあるでしょう。」と申し上げました。

また、安藤局長は、「個々の社員のキャリアパスを具体的に描くことにより、将来の女性管理職 %という目標値を定め、着実に達成していく企業もあります。」と、他企業の取組を紹介しました。

男性の育児休業については、「つい最近、1ヶ月半の育児休業を取得した男性社員が1人出ましたので、現在『くるみんマーク』の認定を考えているところです。」と石井本部長。職場でも仕事の分担をし合うことで、育児休業を取りやすい環境作りに努められたとのことでした。



『くるみん』取得に関しては、「情報サービス産業全体のイメージアップにもなることでしょう。」と、安藤局長も励ましの言葉を申し上げました。

男女が共に活躍できる環境の整備にますます力を入れる AGS 株式会社。今後、仕事と育児を両立しながら会社を支える、中核的な女性社員が増えていくことを期待しながら、会社を後にしました。